

花巻市の家計簿を お知らせします



わたしたちの生活に密着したさまざまな事業を行っています(乳幼児健診)

平成18年度の決算が花巻市議会9月定例会で認定されました。食費や光熱費、教育費など、皆さんが毎月の家計を目的ごとに分けて管理しているように、市でも年間の予算を使い道に応じて、「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3つの財布に分け、管理しています。

皆さんの大切な税金などで賄われている市の財政。ここでは、昨年度、この3つの財布にどのくらいのお金が入り、どのような目的に使われたのか、その中身をお知らせします。



一般会計

福祉や教育、道路の整備など、わたしたちの生活に密着したさまざまな事業を行う市政運営の基本となる会計です。

平成18年度決算 歳入・歳出ともに減少

平成18年度に一般会計の財布に入ったお金(歳入)は46億6,437万円。この中から使ったお金(歳出)は45億8,940万円で、差し引き額は14億5,432万円になりました。

歳入を前年度と比較すると、自主財源の代表的なものである「市税」は30億1,100万円(0.3%増加。依存財源の代表的なものである「地方交付税」は25億5,500万円(0.2%減少)しました。また、借入金や積立金の取り崩しの削減に努めたことにより、市債は10億6,200万円(18.5%減少、繰入金金は17億8,218万円(41.4%減少。歳入全体では、25億1,415万円(5.1%減少)しました。

一方、歳出の中で最も多かったのは、福祉施策や医療費給付、生活保護などの民生費で、前年度と比較すると3億6,954万円(4.0%増

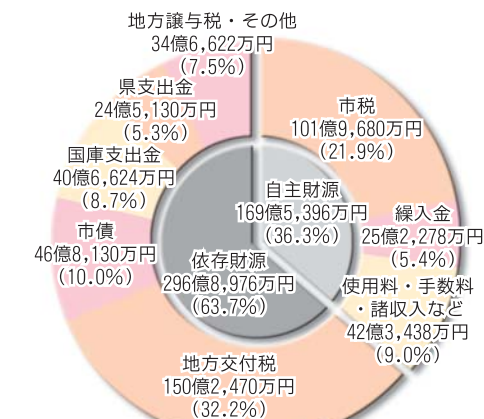
平成18年度決算を家計簿に例えると… わが家の収支 13,826円の黒字

市民1人当たりの収入	44万3,436円
●給料(市税)	9万6,940円
●貯金の引き出し(繰入金)	2万3,984円
●前年度の残金(繰越金)	7,733円
●貸地収入(使用料・手数料など)	8,491円
●実家からの援助(地方交付税など)	20万4,799円
●銀行からの借り入れ(市債)	4万4,505円
●その他	5万6,984円

市民1人当たりの支出	42万9,610円
●食費(人件費)	8万4,514円
●仕送り(繰出金)	4万6,353円
●物品の購入(物件費)	4万8,048円
●ローンの返済(公債費)	7万0,809円
●医療費(扶助費)	4万7,397円
●家のリフォーム(建設費)	7万6,414円
●積み立て(積立金)	1万3,362円
●その他	4万2,713円

一般会計における歳入歳出を「家計簿」に置き換え、市民1人当たりの収入と支出にしてみました。
※平成19年3月末人口(105,187人)で計算しています

歳入 466億4,372万円



- **自主財源と依存財源** 市税や施設使用料など、市が自ら徴収できる財源が「自主財源」。一方、地方交付税、国庫支出金など、国や県から交付される財源が「依存財源」
- **地方交付税** 市の財政力に応じて、国から交付されるお金
- **市債** 事業を行うために、市が国や金融機関から借りるお金
- **国庫支出金・県支出金** 事業の財源として使い道が特定された、国(県)から交付されるお金

※歳入・歳出とも、平成18年度決算額と平成17年度決算額との比較をするに当たり、平成17年度決算額には「決算統計の数値を使用しています」

加。次いで公債費、土木費、総務費、教育費と続いています。

さらに歳出を性質別に見てみると、義務的経費が占める割合が大きく、人件費は5億3,773万円(5.7%減少、公債費は15億3,300万円(0.2%増加)しました。歳出全体では、31億5,502万円(6.5%減少)しました。

自主財源の柱「市税」の内訳は？

区分	税額	前年度との比較
市民税(個人・法人)	36億0,383万円	6,054万円
固定資産税	56億0,469万円	△6,197万円
軽自動車税	2億0,588万円	531万円
たばこ税	6億3,616万円	1,505万円
入湯税	1億4,624万円	1,108万円
合計	101億9,680万円	3,001万円

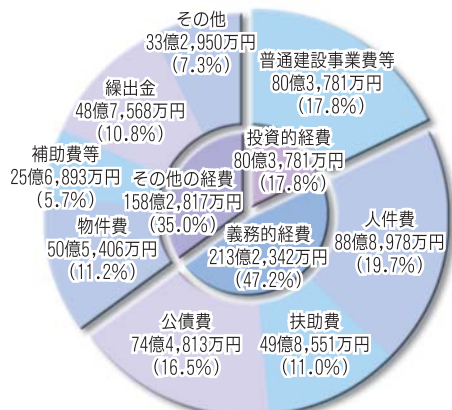
【市民の市税負担額】

- 1人当たり → 9万6,940円
- 1世帯当たり → 28万9,452円

※平成19年3月末で計算(人口:105,187人、世帯数:35,228世帯)

性質別

例えば、建設事業費は土木費だけでなく、教育費、民生費にも含まれます。このように性質ごとに歳出を分類したものが「性質別歳出」です。



目的別

- **民生費** 高齢者福祉施設の整備や保育園の運営などの経費
- **公債費** 市債の元利償還などの経費
- **土木費** 道路整備や公園整備などの経費
- **総務費** 一般事務や財産管理、積立金などの経費
- **教育費** 小・中学校の整備や学校教育、社会教育などの経費
- **衛生費** 各種予防検診やごみ処理などの経費
- **農林水産業費** 農林水産業の振興と農道・林道整備の経費
- **商工費** 商工業や観光の振興などの経費

- **投資的経費** 道路や学校など、将来に残るものに対する経費
- **義務的経費** 人件費など、必ず支払わなければならない支出。この経費の割合が増えるほど、市が自由に使えるお金が少なくなります
- **人件費** 職員の給料や手当などの経費
- **物件費** 施設の光熱水費や各種委託料などの経費
- **補助費等** 事務組合や各種公益団体に対する補助金などの経費
- **繰出金** 一般会計から特別会計へ支出する経費

大切な財源
効率よく活用

新市の基礎づくりの年となった平成18年度は、国の「三位一体改革」に伴う国庫補助負担金の廃止・縮減や、地方交付税の減額など、引き続き厳しい状況下での財政運営となりました。

皆さんが納めた税金や地方交付税などの貴重な財源を活用し、旧4市町の引き継ぎ事項や新市建設計画に基づき、道路の整備や少子・

高齢化施策、保健・福祉対策など、市民生活に直結する施策に重点を置きながら、各種事業を展開しました。

今後ますます求められる地方自治体の自立。市では、これからも行政改革に積極的に取り組むとともに、皆さんのニーズにこたえるため、事業の優先度・緊急度を考慮しながら、さらに効率的な財政運営に努めていきます。

市民の皆さんのご協力をお願いします。

平成18年度の主な事業

- 民生費**◆乳幼児妊産婦重度心身障がい者医療費給付事業に3億2,901万円◆学童クラブ運営委託料に4,118万円◆生活保護事業に9億7,187万円
- 土木費**◆道路の新設・改良に14億8,104万円◆交通安全施設の整備に1億3,015万円◆赤坂住宅建設事業に2億750万円
- 総務費**◆合併記念式典事業に360万円◆行政評価システム導入事業に1,023万円◆小さな市役所推進事業に429万円
- 教育費**◆小学校施設耐震補強事業に2億84万円◆石鳥谷中学校校舎改築事業に2億7,905万円◆幼稚園就園奨励補助事業に5,673万円
- 衛生費**◆救急救命用具整備事業に332万円◆予防接種事業に9,406万円◆公害対策事業に1,366万円
- 農林水産業費**◆いわて農業担い手支援総合対策事業に9,661万円◆花巻園芸ビジョン作物産地形成事業に653万円◆森林病虫害等防除事業に1億2,069万円
- 商工費**◆大迫中心市街地活性化施設整備事業に3億2,567万円◆(仮称)複合デバイス技術センター設置事業に3,186万円◆宮沢賢治生誕110年祭事業に2,300万円
- 消防費**◆消防施設設備整備事業に7,423万円◆消防水利施設整備事業に3,381万円◆消防団装備及び施設整備事業に1億2,172万円

国民健康保険直営診療施設勘定事業

診療収入や一般会計からの繰入金などを財源として、石鳥谷医療センターを運営しました。平成18年度の診療状況は、入院患者が延べ2656人、外来患者が延べ1万2646人になりました。

老人保健施設事業

介護給付費収入や施設利用料などを財源として、東和地域の老人保健施設「華の苑」を運営しました。平成18年度は、病気の後遺症などにより介護を必要とする高齢者に、介護サービスを提供しました。

公設地方卸売市場事業

売上高使用料や施設使用料、一般会計からの繰入金などを財源として運営しました。平成18年度は、発泡スチロールのリサイクルを行う減容機を更新しました。

下水道事業

下水道使用料や国の補助金、一般会計からの繰入金などを財源として、下水道整備などを行いました。平成18年度は、花巻地域では本館南城地区など、大迫地域では旭町、鳥長根地区など、石鳥谷地域では八幡、好地地区など、東和地域では前郷、沖地区などを整備しました。

【平成18年度 特別会計決算の総括表】

区 分	歳 入	歳 出	差引残高
国民健康保険	92億8,107万円	90億6,405万円	2億1,702万円
老人保健	98億6,599万円	99億7,376万円	△1億 777万円
介護保険	67億 270万円	65億9,779万円	1億 491万円
介護保険サービス事業	914万円	914万円	0万円
簡易水道事業	4億 986万円	4億 45万円	941万円
石鳥谷東中央部営農飲雑用水施設事業	4,396万円	3,680万円	716万円
国民健康保険直営診療施設勘定事業	2億8,819万円	2億7,946万円	873万円
老人保健施設事業	3億 310万円	2億8,798万円	1,512万円
公設地方卸売市場事業	9,120万円	8,742万円	378万円
下水道事業	50億1,920万円	49億8,069万円	3,851万円
農業集落排水等汚水処理事業	26億9,705万円	26億6,838万円	2,867万円
合 計	347億1,146万円	343億8,592万円	3億2,554万円

農業集落排水等汚水処理事業

農業集落排水施設使用料や国・県の補助金、一般会計からの繰入金などを財源として、農村地域のし尿や生活雑排水などを浄化し、農業生産性の向上や水辺環境の保持など、豊かな住環境をつくるための事業を実施しました。平成18年度は、花巻地域では西南地区、石鳥谷地域では八幡・八日市地区と八重畑地区を整備しました。また、家庭用浄化槽の設置を各地域で行いました。

赤字分については、翌年度繰上充用金(※)で補てんしました。

※翌年度繰上充用金

会計年度経過後、その会計年度の歳入が歳出に対して不足する場合に、翌年度の歳入を繰り上げて、その年度に充てること



特別会計

国民健康保険税や下水道使用料など、特定の歳入で特定の事業を行うための会計。一般会計と区別して経理しています。

国民健康保険

加入者が納める国保税や国・県の交付金、一般会計からの繰入金などを財源として、医療の給付や各種保険事業などを実施しました。平成18年度の被保険者は、3万8297人。歳出の大半を占める保険給付費は61億5061万円で、被保険者1人当たりの給付額は16万603円になりました。

老人保健

国・県の負担金、一般会計からの繰入金などを財源として、75歳以上の高齢者の医療を確保するための事業を実施しました。平成18年度の老人医療対象者は、1万5204人。歳出の大半を占める給付額は99億6151万円で、対象者1人当たりの給付額は65万5190円になりました。

介護保険

介護保険料や国・県・市の負担金などを財源として、介護サービスを提供しました。



企業会計

水道事業所

水道事業は、独立した会計を持ち、経営に必要な経費を自らの収入でまかなう「独立採算制」です。会計は、次の2つに分かれています。

収益的収支

水道使用料を主な財源として、施設の維持管理や借入金の利息の支払いなどに使われます。

資本的収支

企業債(施設整備に使う借入金など)を主な財源とし、施設の整備や更新借入金の元金の返済などに使われます。

区 分	収 支	決 算 額	内 容
収益的収支	収 入	20億8,842万円	水道使用料など
	支 出	19億4,670万円	維持管理費など
資本的収支	収 入	4億8,401万円	企業債など
	支 出	10億 280万円	工事費など

◆供給単価と給水原価

供給単価(1立方メートル当たりの料金収入)は221円49銭、給水原価(1立方メートル当たりの費用)は224円73銭で、給水原価が3円24銭上回っています。

